

農業経営のお悩み 解決します

経営改革でいい波をつくる

相談
無料

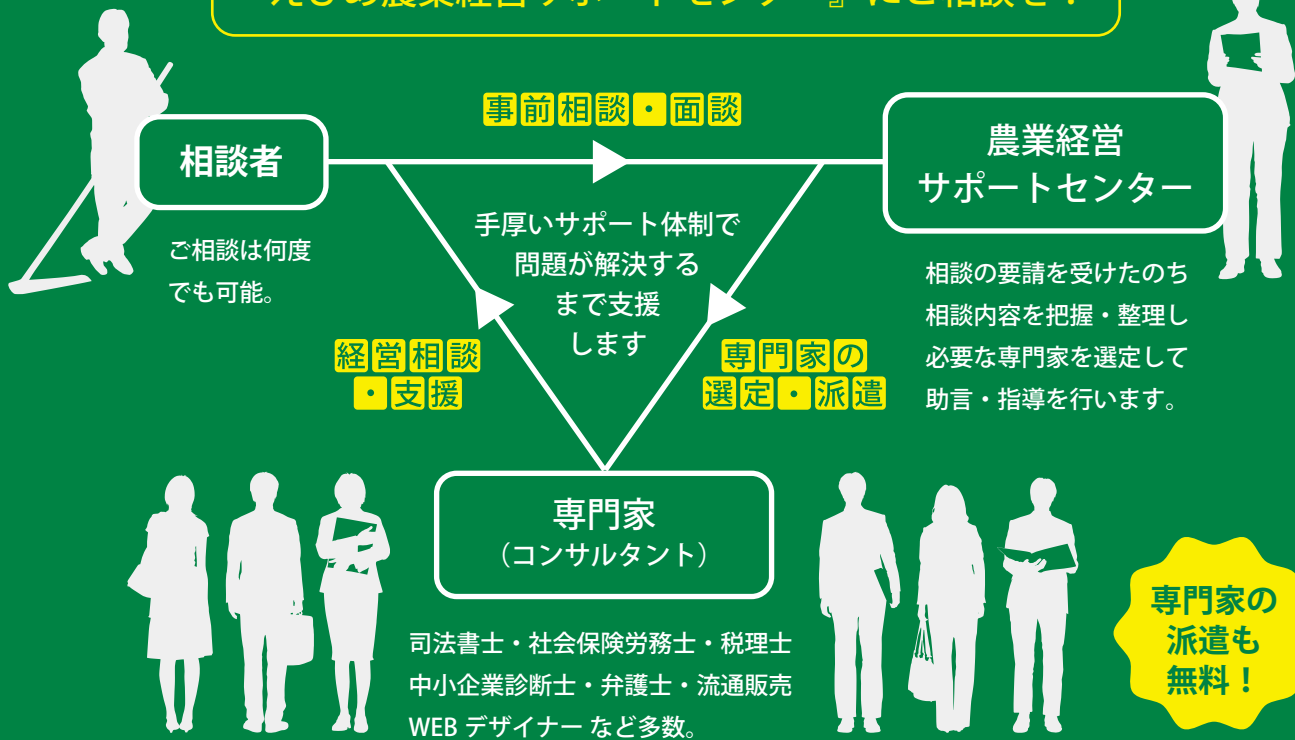
こんなお悩みありませんか？

- 経営を見直し所得を増やしたい
- 経営診断で「経営が見える化」したい
- 販路を拡大したい
- 農業経営を継承したい
- 法人化したい
- 新規事業に取り組みたい
- 人材を雇用し、人手不足を解消したい
- 新規で農業をはじめたい など



農業経営に関することならどんなお悩みでも

『えひめ農業経営サポートセンター』にご相談を！



(公財) えひめ農林漁業振興機構

えひめ農業経営サポートセンター

松山市三番町四丁目4-1 (愛媛県林業会館内)

お問い合わせ

TEL 089-945-1542

詳しくはホームページにて

えひめ農業経営サポートセンター



E-mail enk-sapo@enk.or.jp

支援事例

経営改革でいい波をつくる

えひめ農業経営サポートセンターが東・中・南予の農業法人からの依頼を受け農業経営に関する支援を行った事例をご紹介します。(取材：2021年12月)



株式会社あぐりサポートいわね
代表 曾我 敏数さん 副代表 十亀 保美さん

支援事例① 広域連携会社設立で 経営の継承と改善を实践

西条市
小松

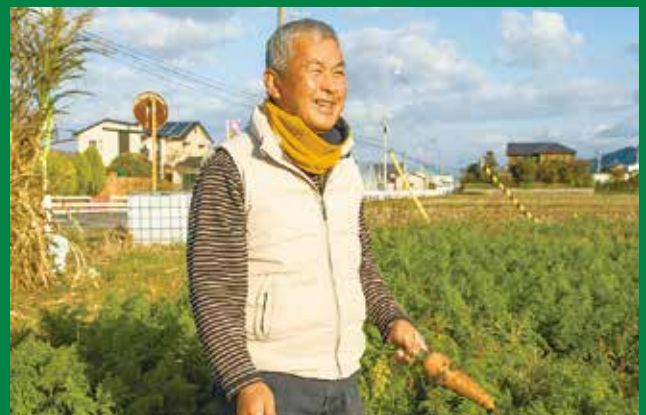
2021年10月、妙口原と大頭の二つの農事組合法人が共同で約60ヘクタールの農業経営を行う「あぐりサポートいわね」を設立しました。2018年から地域間や農家との合意形成を進めながら、毎月勉強会を開催。課題が持ちあがるたびに専門家の派遣を依頼して意見を聞くなど「設立にはサポートセンターの支援が不可欠だった」と二人は語ります。

今後は一つの法人として、担い手育成や農業機械導入の効率化といった経営の継承と改善を図りながら、農業先進地域として次代につなぐ集落に見合った営農体系の確立を目指しています。

支援事例② 無理ない栽培計画、黒字に転換 松前町

地域の耕作放棄地を預かり農作物栽培を始めた高市さん。当初は多品種の無農薬野菜をメインにしていたが、経営改善をサポートセンターに相談。税理士や中小企業診断士、県の普及指導員ら専門家がチームを組み、現状を分析。いったん人員を適正な規模まで調整し、米と麦をベースに収益性の高いニンジンやスイートコーンなど品種を数種に絞り込み、1年を通して無理なく栽培できる計画に見直しました。

初年度こそ利益が出ませんでした。2年目以降、黒字に転換。順調に成長を続けています。



農事組合法人 ほのぼの農園 代表理事 高市 真一さん



段畑みかん株式会社 代表取締役 渡邊 真一さん

支援事例③ 第三者の助言を意欲的に活用

西予市
明浜

妻の祖父の後継ぎとして22歳から柑橘農家になった渡邊さん。3年前に法人化し、手探りで営農を続ける中、「第三者目線で経営状態を判定してほしい」と県の農業指導班を通じてサポートセンターに相談。中小企業診断士から、帳簿の記載に関する改善を教わりました。さらに、園地の拡張や次世代への事業承継を考慮すると、今以上に会社に資産を蓄積していく経営手法が必要との指摘も受けました。

また、給与体系など雇用に関しては、社会保険労務士の意見を聞くなど、今後も支援制度を意欲的に活用する考えです。